国立大学法人 鳴門教育大学・鳴門教育大学附属中学校

# 第63回　中学校教育研究発表会のご案内

研究主題

# 社会に生きて働く資質・能力の育成

－見方・考え方を働かせた深い学びの実現を通して－

「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編」では，子供たちが，学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し，これからの時代に求められる資質・能力を身に付け，生涯にわたって能動的に学びを続けることができるようにするためには，これまでの学校教育の蓄積を生かし，学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要であり，我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。本校では，深い学びに着目し，その実現を通して，社会に生きて働く資質・能力の育成を目指した授業を提案します。

**開催日**　令和元年 **5月31日(金)**

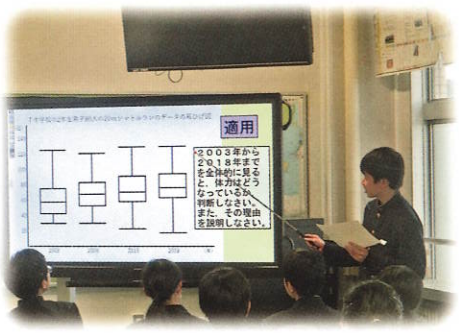
**日　程**

| 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:15 | 14:05 | 14:20 | 15:10 | 15:25 | 16:25 予定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 受付 | 開会<br>全体会 | 移動 | 公開授業<br>(50分) | 移動 | 分科会 | 移動 | 講演 | |

**講　演**

【講師】　鳴門教育大学　人文・社会系教育学部　准教授　**藤村　裕一**

【演題】　**社会に生きて働く資質・能力の育成**
－見方・考え方を働かせた深い学びの実現を通して－




## 公開授業 (13:15～14:05)

| 教科・学年 | 単元・題材 | 授業者 | 教科・学年 | 単元・題材 | 授業者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国語科<br>3年 | 言葉のパフォーマンス発表会をしよう | 小阪昌子 | 美術科<br>2年 | 興福寺阿修羅像の魅力にせまろう | 岩佐宣之 |
| 社会科<br>2年 | 江戸幕府による農民政策 | 髙﨑英和 | 保健体育科<br>1年 | 生活習慣と健康について考えよう | 木下臣仁 |
| 数学科<br>1年 | どっちの病院を紹介しようかな？<br>～累積度数・累積相対度数～ | 島尾裕介 | 技術･家庭科(技術分野)<br>2年 | 地図コンテンツを活用して<br>防災に関する問題を解決しよう | 山田哲也 |
| 理科<br>3年 | 遺伝の規則性と遺伝子 | 福田幸司 | 技術･家庭科(家庭分野)<br>3年 | おいしい！楽しい！ヘルシー！<br>わが家の蒸し料理 | 合田紅花 |
| 音楽科<br>1年 | 歌でつむごう日本の風景と心<br>～夏の思い出～ | 小山直人 | 英語科<br>3年 | 附中エコアクションを提案しよう | 天王寺谷　圭司 |

## 分科会 (14:20～15:10) 公開授業のある教科は全て分科会を行います。

| 教科 | 助言者 | 司会者 | 教科 | 助言者 | 司会者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国語科 | 鳴門教育大学　教授　幾田伸司<br>県教育委員会　指導主事　篠原雅人 | 上八万中学校　教頭<br>大井育代 | 美術科 | 鳴門教育大学　教授　山木朝彦<br>総合教育センター　指導主事　三木健司 | 高浦中学校　教頭<br>中南弘史 |
| 社会科 | 鳴門教育大学　副学長　梅津正美<br>県教育委員会　指導主事　長江徹子 | 阿南第一中学校　教頭<br>仁木博史 | 保健体育科 | 鳴門教育大学　副学長　田中弘之<br>県教育委員会　指導主事　沖　建治 | 本校　教諭<br>廣田愛実里 |
| 数学科 | 鳴門教育大学　教授　佐伯昭彦<br>県教育委員会　指導主事　村岡文英 | 佐那河内中学校　教諭<br>篠原貴道 | 技術・家庭科<br>(技術分野) | 鳴門教育大学　教授　伊藤陽介<br>総合教育センター　指導主事　谷　陽子 | 大麻中学校　教諭<br>沖　宗優 |
| 理科 | 鳴門教育大学　教授　佐藤勝幸<br>県教育委員会　指導主事　上岡祐司 | 市場中学校　教頭<br>豊田佳男 | 技術・家庭科<br>(家庭分野) | 鳴門教育大学　准教授　速水多佳子<br>総合教育センター　指導主事　松田和代 | 川内中学校　教諭<br>東條良栄 |
| 音楽科 | 鳴門教育大学　准教授　鉄口真理子<br>総合教育センター　指導主事　谷口早代 | 応神中学校　教諭<br>上原祥子 | 英語科 | 鳴門教育大学　教授　山森直人<br>県教育委員会　指導主事　武知一誠 | 助任小学校　教諭<br>赤澤三佳 |

※エコアクション21に取り組んでおりますので，ノーネクタイ等のクールビズを推奨しております。

## 参加申込

◆申込方法　別紙参加申込書に必要事項を記入し，郵送かＦＡＸでお申し込みください。５月17日(金)締め切り
（参加申込書は，本校ホームページからダウンロードが可能です。）

◆資料代　2,000円(研究紀要，大会要項)

◆お問い合わせ　**鳴門教育大学附属中学校**　〒770-0804　徳島県徳島市中吉野町1丁目31番地
TEL(088)622-3852　FAX(088)652-0122　http://www.secsch.naruto-u.ac.jp　E-mail:fuchu@naruto-u.ac.jp

後援　徳島県教育委員会　徳島県市町村教育委員会連合会　徳島県中学校長会　公益社団法人徳島県教育会